

令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・技能分野の向上のため、授業の中で資料の読み取りの演習を行った。その結果、資料の読み取りに関する力が向上した。
- ・思考分野の向上のために、話し合い活動や討論の活動の中で自分の意見を表現する活動を行った。その結果、資料に対して考える力、それについて文章で表現する力が身に付いてきた。

(2) 課題

- ・主体的に資料を読み取る力が全学年で低い傾向がある。
- ・地理的分野は全学年で数値が低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	・目標値を下回っている。	/	/
第2学年	・目標値を下回っている。	・目標値を若干下回っている。 (第1学年時)	/
第3学年	・目標値を若干下回っている。	・目標値を下回っている。 (第2学年時)	・目標値を大きく下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。 地理的分野、歴史的分野共に正答率が低い。	目標値を下回っている。 地理的分野、歴史的分野共に正答率が低い。	目標値を下回っている。 地理的分野、歴史的分野共に正答率が低い。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。 地理的分野、歴史的分野共に正答率が低い。	目標値を下回っている。 地理的分野、歴史的分野共に正答率が低い。	目標値を下回っている。 地理的分野、歴史的分野共に正答率が低い。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>目標値を若干下回っている。</p> <p>地理的分野の日本の地域的特色と地域区分また地形図の読み取りについての数値は高いが、歴史的分野の江戸時代の内容についての数値は低い。</p>	<p>目標値を大きく上回っている。</p> <p>地理的分野の日本の地域的特色と地域区分また日本の諸地域についての数値が高い。歴史的分野のヨーロッパ人との出会いについても数値が高い。</p>	<p>目標値を若干上回っている。</p> <p>地理的分野・歴史的分野共に高い数値である。</p>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地理では必ず地図や地図帳を使い、歴史でも地図を使うことによって、社会的事象の空間的理解を定着させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの資料から情報を読み取る活動ではなく、複数の資料から情報を読み取る活動に変えていく。また、複数の視点から資料を読み解く活動も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元や本時の「問い」の中で、結果から原因を追究する内容、背景や条件から結果を追求する内容のものを取り扱い、それを文章や図などで表現する活動を行う。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや振り返りなどを行い、知識・理解の定着を図る。 ・キーワードや関連する単語についてはチョークの色を変えるなど強調していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、資料を読み取る演習などを取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理や歴史の中で、異文化に関する単元の際は、異文化を許容する内容の授業展開に努め、異文化理解についてグループで考え、話し合う活動を設ける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・授業や問題を通じて、資料を読み取る演習を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や問題を通じて、資料を読み取る演習を増やしていく。また、その資料から導くべき解答を適切に答えられる力を付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートやレポートなどを通じて、自らの意見を適切かつ主体的に述べる力ができる力を付けさせる。